

# 東川で初開催、FEET

8月24日から6日間、「FEET（極東トライアングル）東川」がゆめとびゅあIをメイン会場に開かれました。

元太平洋国立大学（ロシア・ハバロフスク市）建築デザイン科教授、前カチョン（嘉泉）大学（韓国）建築学科講師のハン・キョンホ（韓卿浩）さん（東川在住）、関和明関東学院大学建築・環境部教授、中島修読売理工医療福祉専門学校講師の3人が共同企画し、初の東川開催。

建築を学ぶ日本、韓国、ロシアの極東三極の学生が参加するフォーラム。現代建築に求められるものをもとに考察する、という狙い。極東連邦大学（ロシア・ウラジオストク）から学生6人、教員3人、関東学院大学から学生と卒業生3人が来町しました。テーマは「住宅デザイン〜写真家の家」。東川に移住したハンさんが住む家を建築することを想定して、ゲスト



が遊びに来る家はどんな家がいいかをデザインしてみる、という課題。東川町の町の特長、人口、産業、気候風土などを事前知識として学び、2日間で具体的なデザインを描き起こしました。ポイントとは町の基本データをどう理解し、どんな家を作るか。それぞれの国柄が表れた発表デザインになったようです。

## 家畜感謝祭

9月10日、忠別公園（南町2）の家畜感謝の碑で畜産振興協議会（会長・樽井功東川町農協組合長）が主催して家畜感謝祭を行いました。

町の開拓と発展、第一次産業に欠くことのできない力となつて支えてくれた牛馬、鶏など家畜に感謝するため毎年開いています。農業団体、役場、町議会関係者、酪農、養鶏農家約20人が

# くらし楽しくフェス、好天でにぎわった

9月1、2の両日キトウシ森林公園で春と秋の年2回開催の第65回くらし楽しくフェスティバルが開かれました。

開催期間の2日間とも好天に恵まれ、日中汗ばむほどの祭り日和。恒例のリサイクル市では「何でも100円」の古着、子供服、玩具などの出店テントがずらり。年々成長するわが子のために掘り出し物を求める来場者でいつものにぎわいが。秋は、収穫したばかりのトウモロコ



シ、じゃが芋、トマト、リンゴなど地物の野菜や東川産の農家直売の米も並び、見る間に売り切れに。会を重ねるごとに人氣の中古車オークションにも多くの来場者が参加しました。今フェス会場では初日夜、大会史上初めて花火の打ち上げを行いました。午後8時、星空いっぱい

出席しました。樽井会長は「開拓に欠かせなかった牛馬にお世話になり、口にして力に変えて東川が発展してきた」と改めて感謝し、ともにその功を追悼しました。



町内では養豚、酪農、養鶏農家それぞれ1軒ずつを残すだけになっています。